

特別支援学級 自立活動指導案

日 時 平成 30 年 11 月 8 日 (木)
 児 童 知的障がい学級 男子 2 名 女子 0 名 計 2 名
 自閉症・情緒障がい学級 男子 2 名 女子 0 名 計 2 名
 授業者

1 単元名 収穫祭をしよう

2 単元について

(1) 児童について

知的障がい学級在籍児童は、仲よく協力して活動することができるが、生活経験の不足や指示された内容の理解が難しい場合があるため、作業が段取りよくできなかつたり、自分の考えや気持ちを相手に分かるようにまとめたりはつきり伝えることができなかつたりすることがある。交流学級では、国語・算数・社会・道徳以外の教科等を学習し、朝・帰りの会、給食などの時間を共に過ごしている。その際、自分の考えをまとめて表現することが難しく戸惑っていたり自信が持てずに発表することをためらったりする様子が見られることがある。また、初めての活動は、どうしていいかわからず、積極的に参加できないことが多い。

自閉症・情緒障がい学級在籍児童は、自分の気持ちを言葉できちんと伝えたり相手の立場に立って考えたりする力が未熟なため、時に自分の気持ちの方が優先され、トラブルが起こることがある。交流学級では、国語・算数・社会・道徳以外の教科等を学習し、朝・帰りの会、給食などの時間を共に過ごしている。その際、集中して話を聞くことができないため、指示されたことをもう一度問い直したり、指示されたことと違うことを行ったりしていることがある。また、学校や学級のルールよりも自分の気持ちや気分に従って行動することがあるため、友達とトラブルになることがある。

本単元に関わる児童の実態

自立活動の区分に即しての実態						
	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
A児 5年 (知的)		初めてのことに取り組む活動に対しては消極的だが、何度か経験すると受け入れることができる。	ルールを守り、他の人のことを考え、協力して活動することができる。	目的に応じて、適切な文章にまとめることが難しいときもある。	丁寧に折る・細かく切るなど細かい作業が難しい。	友達とのコミュニケーションはできるが、他の人に対しての接し方が分からないときもある。
B児 6年 (知的)		分からないことがあっても周りに聞けずに、不安になっていることがある。	ルールを守り、他の人に教えたり手伝ったりして、協力して活動することができる。	目的に応じて、適切な文章にまとめることが難しい。	丁寧に折る・細かく切るなど細かい作業が難しい。	日常的なコミュニケーションはできるが、改まった場など環境が変わると不安になり小声になりがちである。
C児 3年 (自閉症・情緒)		注意や集中を持続して、学習に取り組むことが難しいときがある。	指示を聞き逃したり、最後まで聞かずに活動をしたたりして、トラブルになることがある。	聞くより見る方が理解しやすい。	丁寧に折る・細かく切るなど細かい作業が難しい。	会話の内容や状況を把握することが難しいことがあり、状況にそぐわない受け答えをすることがある。
D児 5年 (自閉症・情緒)		自分の思い通りにならないと、かっとなり、暴言を吐いたり、乱暴になったりする。	ルールは分かっているが、自分の不利になる場合は、ルールを守れない場合がある。	聞くより見る方が理解しやすい。	絵を描いたり、物を作ったりすることは得意である。	相手の立場を意識することが難しく、自分の興味関心を優先してしまう。

(2) 題材について

これまで児童は、「お花見会をしよう」「七夕会をしよう」「一学期終わりの会をしよう」という単元に取り組み、集会活動を行ってきた。集会は、先生方を招待して、調理をしたものをいっしょに食べたり、ゲームをして交流したりするなど、意欲的に取り組むことができた。しかし、自分の思いが優先され、みんなが楽しいと思えない言動もあった。楽しい集会にするためには、自分の意見を伝え、お互いの考えも聞き合っ物事を決めたり、ルールを守って協力して活動したりする必要がある。また、先生方を招待するためには、その場にふさわしい言葉遣いやコミュニケーションが求められる。これらのことから、本単元は、個々の児童がそれぞれ抱える学習上、または生活上の困難を改善克服するのに適した題材であり、小集団の中できめ細かく指導していくことがより効果的であると考える。

(3) 指導にあたって

本単元では、収穫祭の計画を立てたり、役割分担や招待状を書く相手を決めたりするなどの話し合いがある。その際、自分の考えを持って話し合いに参加し、はっきり伝わるように発表することを大切にしたい。そのため、4名の児童すべてに発表させるようにしていく。どのように発表すればいいか戸惑う児童のためには、話し方について提示し、視覚的に分かるようにしていく。そして、自分の考えを話せたことを評価していく。話し合いの際、相手に注目せず相手が話すことを聞いていなかったり、途中で口をはさんだり、決定したことが自分の思うようにならなかったと言ってすねたりすることも考えられる。そこで、話し合いの前に、児童の前で教師同士がそれらの場面をロールプレイングしてみせ、周りの人の気持ちやその結果どういうことが問題になるのか考えさせていきたい。話を聞くときは、聞き手を意識し、話を聞いていることを示すうなずきも大切にしていきたい。また、調理や会場準備では、教え合ったり助け合ったりして活動できるようにペアや4人で作業させる場面を設定していく。招待状を渡したり会場案内をしたりする際は、相手に応じた言葉遣いを教え、練習して身に付けさせていく。この単元を通しての学習で、自分の考えをはっきり伝えること、相手の話を最後まで肯定的に聞くこと、話し合いのルールを守ろうとする意識を育てることなど話し合いに必要な力を育てていきたい。また、周りの友達の気持ちを考えながら協力して活動する力を育てていきたい。これらの力を身に着け、交流学級でも周りのみんなと気持ちよく活動できるようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 楽しい集会にするために、仲よく協力して活動することができる。
- (2) ルールを守って、活動したり話し合いをしたりできる。
- (3) 適切な言葉遣いで、招待状を渡したり会場案内をしたりすることができる。
- (4) 責任を持って自分の役割を果たすことができる。

4 指導計画 (11時間)

時	学 習 内 容
1	収穫祭のめあての確認をし、おおまかな計画を立てる。 ・おおまかな内容 (先生方招待・ゲーム・歌・料理・飾り (など))
2	収穫祭の具体的な計画を立てる。 ・具体的な内容 (役割分担・ゲーム・料理など)
3 本時	招待状を書く時に気をつけることについて話し合いをする。
4	招待状を完成させ、渡しに行く。
5	自分の役割分担に従い、準備や練習をする。
6・7	必要な材料や作り方を確認し、準備をする。
8	調理をする。
9	会場作りをする。 ・飾り付けをする。 ・机のセッティングをする。(机・いす・名札など) ・収穫祭のめあてについて確認する。
10	収穫祭をする。
11	後片付けをし、振り返りをする。

5 本時の指導 (3/11)

(1) 目標

話し合いのルールを守り、招待状を書く時に気をつけることについて話し合うことができる。

(2) 個人の目標

		健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
A・B 児	目標を達成するために必要な項目	/	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること	/	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること	/	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること
	個人の目標	A児：人の話をうなずいて聞き、招待状を書く相手や書くときに気をつけることに関して、自分の考えを最後まで話すことができる。 B児：人の話をうなずいて聞き、招待状を書く相手や書くときに気をつけることに関して、自分の考えをはっきり話すことができる。					
C・D 児	目標を達成するために必要な項目	/	(1) 情緒の安定に関すること	(4) 集団への参加に関すること	/	/	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること
	個人の目標	C児：指示や相手の話をうなずきながら最後まで聞き、自分の考えをはっきり話すことができる。 D児：指示や相手の話をうなずきながら最後まで聞き、自分の考えが通らなくても、決まったことは受け入れることができる。					

(3) 展開

段階	学習内容と活動	指導上の留意点 ○支援 ◇評価
導入 10分	<p>1 始めの挨拶をする。</p> <p>2 学習課題を確認する。 話し合いのルールを守り、招待状について話し合おう。</p> <p>3 学習の見通しを持つ。 ①話し合いのルール ②話し合い (招待状を誰に書くか、書くときに気をつけること) ③招待状作り ④ふりかえり</p> <p>・T1とT2で話し合いの悪い例をロールプレイングして見せて、どんな話し合いがよいのか考えていくことを伝える。</p> <p>(話し合いのルール) ①相手の顔を見て、うなずきながら聞く。 ②自分の考えを最後まではっきり言う。 ③決まったことは、受け入れる。</p>	<p>○正しい姿勢で立ち、はっきりした声で挨拶をするように声がけをする。</p> <p>○C児が話をしっかり聞いているか確かめ、聞いていなかった場合は声掛けをする。</p> <p>○以前学習した話し合いのルール(①、③)について、掲示しているもので確認する。</p> <p>・ロールプレイング(ルール②)を見て考えさせる。</p> <p>○悪い例をやって見せ、なぜよくないかを考えさせ、よい話し合いの意識付けをする。</p> <p>○確認した話し合いのルールを、絵や話型の紙板書を示しながら、具体的にとらえさせる。</p> <p>◇よい話し合い方について自分の考えを発表することができたか。(A・B児) ◇相手の話を最後まで聞くことができたか。(C児) ◇相手の話を最後まで聞き、掲示している話し合いのルールを意識して、自分の考えを話すことができたか。(D児)</p>
	<p>4 招待状について話し合う。</p> <p>・誰に書くのか分担について話し合う。</p> <p>・招待状を書くときに気をつけることについて話し合う。</p>	<p>・自分が招待状を書く相手について必ず発表させるようにする。</p> <p>・招待状を書きたい相手が重なったとき、どうするかは、みんなではっきりと確認する。</p> <p>○話し合いのルールが守られているときは、即評価をし、後でも振り返ることができるよう黒板に表示しておく。(C・D児)</p> <p>○招待状の実物を見せて、考えさせる。(A・B児)</p>

<p>展 開 30 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ていねいに書く。 ・色づかいに気をつける。 ・お誘いの言葉（メッセージ）も考 える。 <p>5 招待状を書く。</p>	<p>○相手ももらってうれしいと思う書き方を考えさ せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇人の話をうなずいて聞き、招待状を書く相手や 書くときに気をつけることに関して、自分の考 えを最後まで話すことができたか。（A児） ◇人の話をうなずいて聞き、招待状を書く相手や 書くときに気をつけることに関して自分の考え をはっきり話すことができたか。（B児） ◇指示や相手の話をうなずきながら最後まで聞 き、はっきり話すことができたか。（C児） ◇指示や相手の話をうなずきながら最後まで聞 き、自分の考えが通らなくても、決まったこと は受け入れることができたか。（D児） <p>○気をつけることを意識しながら、できるところ まで丁寧に書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動前に終わりの時間を確認し、完成しなくて も時間で終わることを告げる。
<p>終 末 5 分</p>	<p>6 振り返りをする。 ・振り返りカードに自己評価をする。</p> <p>7 次回の予告をする。</p> <p>8 終わりの挨拶をする。</p>	<p>○振り返りカードに記入させ、教師からもよかつ た点を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招待状作りを完成させ、渡しに行くことを確認 する。 <p>○正しい姿勢で立ち、はっきりした声で挨拶をす るように声がけをする。</p>

6 板書計画

<p>課題 話し合いのルールを守り、招待状について話し合おう。</p>		
<p>①話し合いのルール ②話し合い ア 招待状を誰に書くか イ 書くときに気をつける こと ③招待状作り ④ふりかえり</p>	<p>①話し合いのルール ア 相手の顔を見て、うなずきながら聞く。 イ 自分の考えを最後まではっきり言う。 ウ 決まったことは、受け入れる。</p>	<p>②話し合い ア 招待状を誰に書くか イ 招待状を書くとき、 気をつけること ・ていねいに ・色づかい ・メッセージ</p>

7 場の設定（省略）